

提携米通信

2021年12月号・黒瀬農舎

COP26 「決定的な10年間」の共有を！



モチ麦「はねうまもち」初期成育は順調！ 2021.11.21撮影

無農薬栽培で試作挑戦しているモチ麦。発芽、初期成育は順調です。でも穂が出る6月から収穫の7月までの時期に雨が多いと、無農薬栽培は赤カビ病に侵されることが心配です。好天を祈りながら越冬前の生育観察に山の畑を訪れました。

先月号では、我が家の稲刈りの終盤ころから雨が多く、2日か3日分遅くなった農家は「月末までに終わられるかどうか心配している。」とお話しました。

心配は的中して10月20日以降40日ほどの間、まったく雨が降らなかった日は、ほんの数日。延々と悪天候が続いています。

その雨はいま裏に変わり、北国・当地の山沿いの地域では雪に変わりました。

稲刈り後の田圃仕事は、暗渠の施工や排水溝掘りなど必要ですが、雨でほとんど作業できない状況です。

振り返ってみれば、6月10日頃よりほとんど雨のない好天続きになり、それは稲刈り時期まで100日以上も長く続き、稲刈り後はその反動でしょうか、悪天候ばかりになりました。

また、隣町の果樹園地域の葡萄や梨は、3月の高温で花芽が早く成長し、その後平年気温に戻り、花芽が凍傷に罹って3分作の収穫。秋田のリンゴ地域はこの冬の大豪雪で、倒木や枝折れで半作以下。この2つは、有史以来の気象災害と騒がれています。これらの原因はみな地球温暖化からの災いです。

先月の英グラスゴウのCOP26では「決定的な10年間」というフレーズで議論され、これからの10年、全人類が脱炭素に真剣に取り組まねば恐ろしい未来が訪れると叫ばれていますが、自然の影響を受ける農業を行っている私たちは、この予兆を殊更ヒシヒシと感じます。

今年のお米は、稲の生育期間中が、異常気象の表側になったお陰で豊作になりました。農業は勤勉も大事ですが、多くは天の恵みです。これが裏に廻る年は大凶作です。今後を心配すること頻りです。

天の恵みに感謝しながら、年末にあたりあらためて皆さまのご支援にお礼申し上げる次第です。そして皆さまご家族の素敵な新年のお迎へと、コロナがこのまま収まることを祈念しております。

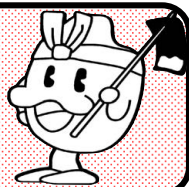
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#) 検索

★新米のご贈答利用もどうぞお願いします。
★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

農家への所得補償を公約する政党に政権資格はない。

今号は、農政にかかわる視点から先の総選挙に少し触れてみたいと思います。

さて、初めての総理大臣が出た県民の立場からすると、僅か一年での菅さん退陣は残念ですが、総選挙では、総裁交代によって生じた漠然とした国民の期待感が現れたことが大きな原因だったのでしょうか、菅さん退陣に動いた自民党の選挙戦略は見事に成功したようです。

ところで、菅総裁が続投宣言していたお盆頃には、自民党は大惨敗すると観る方が多く、野党第一党の立憲民主党も野党共闘による政権交代の夢を描いていたようです。

枝野代表は、この頃、かつての民主党政権時代の所得補償の復活を公約にしたいと発表しました。

十数年前の民主党は、全国各地の農村部では、この農業者への所得補償政策の公約によって、それまで保守党に投票していた農民の票をかっさらって大躍進し政権交代を果たしました。

しかし、この政策はとんでもない愚策です。

いや愚策を超えた醜策でしょう。農民に税金バラ撒き、票を集めるという汚い政治手法です。

今も、コロナに影響を受けた企業や国民にプレミアム割引や支給金を税金で賄う政策が執られていて、これらを「バラ撒きだ」と批判する方もおられますが、私は、これらがすべて適切な方法だとは思わないまでも「バラ撒き」とは言えないと思っています。

コロナは災害です。被災者への支援は、ミニマムセキュリティーとしての生活保護費支給と同質のものであり、これらの対策は国の責務です。

しかし、農業政策は産業政策です。所得補償して産業が栄えるはずがありません。農業者の自立に繋がる支援でなくては税金を使うべきではありません。

所得補償政策は、自立を妨げるだけでなく、まっとうな農民の誇りを傷つけ、人をバカにした政策です。

かつて、民主党時代、このことに声を大に抗議や批判してきましたが、枝野代表など関係者は、反省するどころか、再びこれを公約に掲げ票を集めようとしていることを知り、落胆した次第です。

地元総理の退陣は秋田県民としては残念であっても汚い票集めの「所得補償」が幻に終わった総選挙は、岸田政権に疑問が残る点がありながらも、まずは、めでたし目出度しです。



精麦装置完成！

30年余り前に無料で貰ったと石で粒を削る特殊な研削式精米機で精麦テストした結果、好調だったので、稲刈りや、年末のお餅の製造準備などが一段落したので、やっと精麦装置作りに取り組みました。

循環させるためのエレベーター、糠を分離する吸引ファン、サイクロンなど倉庫の隅から代用品を探し、廃材の鉄を切斷・溶接しモーター3個を取付け完成。

今回の作品は、購入資材は800円のVベルトだけで百万円以上の価値の装置が完成。自画自賛しきり。

でも、2週間近くの日々を費やし、他の仕事が遅れる羽目になりました。

お餅・リンゴ・手作り味噌などご注文ありがとうございました。

お餅などは：**お指定のない限り、11月下旬から年末までのお米と一緒に**お届けします。

リンゴのフジは：**11月下旬～12月上旬**(ご指定頂いている方は、その時期)のお届けとなります。

糴、大豆など手作り味噌関係は：**1月下旬以降**のお届けとなります。

(進物先や自宅のお届け時期を変えるなどは、電話やメールでご連絡下されば対応致します。)